



立正大学

RISSHO University Alumni Association Since 2009

立正大学校友会報

No.31

たちばな

2016.10.1



◆ 発行／立正大学校友会 ◆

- P.02 平成 28 年度「校友の集い」ホームカミングデー in 橘花祭のご案内
- P.03 平成 28 年度立正大学校友会奨励賞授与式
- P.04 平成 28 年度上期校友会費 B 等納入者一覧
- P.05 平成 28 年度校友会主催講演会採録
- P.10 同窓会会長ご挨拶・物故者追善法要開催報告
- P.11 平成 28 年度同窓会定期総会開催報告
- P.12 同窓会支部総会開催報告・四国地域立正大学の集い
- P.13 平成 28 年度郵政会活動状況について・平成 28 年度橘会保護者懇談会開催報告
- P.15 BOOK&WOOKS・卒業生の活躍
- P.16 INFORMATION

平成28年度

校友の集い | ホームカミングデー in 橘花祭開催のご案内

立正大学品川キャンパス 平成28年11月5日(土) 11:00~17:00

11:30~16:30

◆ 立正マルシェ

- ◇ 大崎・五反田商店街、大崎郵便局、周辺企業参加による物販・展示・相談 など
- ◇ 橘花祭模擬店団体による模擬店の出店
- ◇ 同窓会主催による地方物産展(模擬店)
- ◇ 東京中小企業家同友会南部協議会によるフリーマーケット など

学生広場

15:30~17:00

◆ ホームカミングデー懇親会

7号館2階
第2食堂

12:00~16:00 (随時)

◆ 古書資料館見学ツアー

(学術情報課協力)

8号館
地下1階

14:30~15:20

◆ 心理学部開設15周年記念特別講演会

(心理学部同窓会後援)
[立正大学の心理臨床15年]-社会貢献のこころを育む-
講演者:片岡 玲子(元心理学部教授)

9号館地下2階
9B 22教室

10:00~17:00 (終日)

◆ 立正大学の歴史(パネル展示)

9号館
1階通路

11:00~17:00

◆ 乳児のオムツ交換コーナー・授乳コーナーを含む 来場者用キッズコーナー

(社会福祉学部同窓会主催)

9号館2階
921教室

11:00~12:30

◆ OB・OG 先輩を囲む会

13:30~15:30

~中学・高校の先生方と話そう!~
(教職センター・文学部同窓会協力)

9号館2階
922教室

11:00~12:30

◆ OB・OG 先輩を囲む会

~社会を知ろう!先輩と会おう~
(キャリアサポートセンター協力)

9号館2~4階
923・924・931
941・942・943
教室

11:00~12:30

◆ 法学部卒業生異業種交流会

13:30~15:30

「バンザイ!!君に会えてよかった」
(法学部同窓会協力)

9号館2階
925教室

12:10~13:20

◆ 校友会主催講演会

西田公昭(心理学部教授)×秦野眞(名誉教授)
「西田公昭先生に尋ねる」-「オレオレ」詐欺の風景-(仮)

9号館3階
932教室

13:20~14:20

◆ 立笑(正)点 寄席

9号館3階
933教室

11:00~17:00

◆ 大学説明会&大学紹介DVDの上映、 キャンパスツアー

(入試センター協力)

9号館5階
951教室

※当日の開催スケジュールに関しましては、諸般の事情により変更になる可能性がありますことをご承知おきください。情報は校友会HP、Facebookにて随時掲載致します。

平成 28 年度 立正大学校友会奨励賞

ラグビー部女子ならびにリオデジャネイロオリンピック代表選手へ 校友会奨励賞授与式を執り行いました

平成 28 年 7 月 21 日 (木) 立正大学品川キャンパスに於いて、本学ラグビー部女子ならびにリオデジャネイロオリンピック 7 人制ラグビー女子代表に選ばれた選手 5 名に立正大学校友会奨励賞を授与いたしました。

当日は梅雨空の中、学生広場にテリオデジャネイロオリンピック 7 人制ラグビー女子代表選手・スタッフの壮行会が行われ、終了後、会場を移動して、立正大学校友会奨励賞授与式を執り行いました。今回の授与につきまして、ラグビーを通

して努力と研鑽を重ね、本学学生の指標・手本となる成果としてリオデジャネイロオリンピック出場を実現しましたことは、賞賛に値するものと考え、代表選手を輩出しましたラグビー部女子、ならびに、代表選手 5 名へそれぞれ授与いたしました。授与式には品川区長をはじめ、多数の大学関係者のご臨席を賜りました。お足元が悪い中、ご出席いただきました皆様ありがとうございます。

奨励賞授与式の様子



壮行会の様子



校友会費B等納入者芳名(順不同、敬称略)

〔平成28年度 上期〕

(4月1日~8月24日納入分まで)

—ありがとうございました—

お寄せいただいた会費・寄付金等納入者につきましては、平成17年4月より個人情報保護法が施行されておりますが、「掲載許可」をいただいた方のみ都道府県名・氏名に限って公表させて頂きました。何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。なお、「掲載許可」に関する詳細につきましては、本紙巻末 INFORMATION 内の「2016年度校友会費B(卒業生・現元教職員等会費)のご案内」をご覧ください。

◆北海道◆

今裕
小谷每彦
横田定美
小森登
村椿幸二
稲垣見穂
西坂健一
眞神勇
濱崎智淳
釋英義
中川浩一

◆青森県◆

津軽随至
小山田和正
間宮康文
菊池敏男
齊藤誠悦
楠美隆嗣
安田道
澤口公孝

◆岩手県◆

中野吉享
渡部紀子
西山昌秀
小野寺正典
堀江有子
深井憲昭
古川栄子
川村均

◆宮城県◆

櫻井信也
阿部邦英
四電健彦
平地恵子
鈴木潤一郎
布施東吉
風間文静

◆秋田県◆

赤川真也
高橋葵
齋藤雅夫
柴田陽一郎
小棚木麻由美
皆川典子
伊藤弥
工藤潤平

◆山形県◆

今野隆
菅原大嗣
吉田清美

◆福島県◆

高橋達雄
山上大介
五十嵐浩
手島光
成田康彦
小山田祐美子
鈴木秀鳳
佐藤秀一

◆茨城県◆

古平恒雄
峯岸伸一
菊田秀夫

佐藤正人
田口茂
大林由美子
飯塚恭孝
泉隆之

◆栃木県◆

秋山精一
武藤敏弘
川又啓多郎
塩沢俊則
荒居養雄
松本達也
須藤進太郎
飯野博之
大島一人
上野伯美
笠原俊一

◆群馬県◆

太田英子
佐藤洋
佐藤智得
宮崎広保
宮下克巳
赤坂孝宣

◆埼玉県◆

柿澤保幸
栗田純一
坂上豪洋
長谷川智子
米林仲
古澤京子
坂井牧
瀧畑芳和
安藤幸次
時松友二
須藤陽子
鈴木敏子
吉岡雅光
板野晴子
松田洋昭
大久保禄郎
栗原清
設楽健士
新井勝子
柴崎健
古富明義
眞野初
石川利男
山崎光洋
石井亨
高橋弘美
三ツ木一博
齊藤和好
村井惇匡
鈴木明良
濱田文護
磯憲弘
中島一真
早川進一
石黒誠
長堀明英
矢部幸雄
田島初雪
上野千津子
田中紀子
樋口景吉
林俊市
土方功

小山久夫
渋谷昌利
鈴木規夫
二瓶要一
田村一則
檜山正夫
工藤加奈子
今井一忠
浅海勝也
永田榮計
桑原克夫
逸見光久
片山波路
大谷建雄
奥山進次
三田敏雄
鯨井良治

◆千葉県◆

水上和彦
下垣伸吉
山本和幸
三橋信彦
小島修
加瀬守
藤崎剛
保利浩幸
馬場義宣
勝田紀彦
松本定祥
川島洲住
小山善之
二宮由泰
塚越てい子
股部英司
亀井玄栄
前島淳一
穴山清一
川村治
竹田軍郁
藤井秀司
篠塚政夫
木村一男
青木幸男
加藤晋代美
渡辺照敬
中村廣己
鈴野佳子
杉山智光
正木達哉
星野爽
遠藤広貴
窪澤慶文
森玲悟
石毛和美
池田善久
尾崎敬明
三浦俊一
大久保康雄
濱康成
田中一夫
尾形勇
天目石一也
佐々木信一
丹治恭子

◆東京都◆

小多喜孝道
大谷治
神川清
牧幸輝

小林隆史
ローズ・サミュエル
後藤紀恵
樫太
水上裕子
小出茂昭
青木重幸
西谷尚徳
若崎望
平林ちよ子
片受靖
黒田文夫
渡邊至輝
小野寺捷
今村泰子
藤岡明房
高橋靖夫
寺尾英智
松澤勝
葉名尻竜一
高村弘毅
水間覚代
伊藤善隆
小田切尚
村山一幸
佐藤孝
岡昭治
矢野眞三
阿武野郁子
橋高智行
上村裕
永井啓文
左近俊彦
外山寛穂
町田浩二
澤井善昭
田中寛
榊澤光
芳田守
阿部敏和
栗田幸治
栗田美千也
八木橋透
樋口功雄
川島直一
坂井成一
野村伸子
西義雄
須藤辰彦
上本和子
手嶋真人
野口達雄
横山裕
神博充
星野顯聡
潮田恒樹
井井和樹
島野隆行
水谷清
相原進一
益田尚久
水谷美恵子
河又浩昭
近藤榮子
小林浩茂
鈴木彩加
小泉雅子
小多貴章
倉田陽造
石井吉則
初見達郎

吉田仁久
前田康夫
鈴木由美子
藤井敦戒
早川典久
原田忠彦
金谷善弘
津村正康
津村正信
伊藤伸一
洲鎌義次
鈴木茂樹
田代雅嗣
白沢清
吉田伸生
川崎厚子
飯塚四郎
金山秋好
越石まつ江
古田俊雄
井口範英
山口朗子

◆神奈川県◆

小楠敬
角谷譲
寺崎力
向井孝允
山崎則光
山崎和海
小島勉
齋藤継彌
山下和雄
江口晶子
三澤金一郎
澤野光一
高橋和宏
脇本譜次男
磯部光行
中村哲也
黒田昭司
名越和人
藤原頼朝
岡野修
堀内良明
横須賀成良
奥村恵一
平本俊弘
中村英志
金井義博
入澤充
松村三功
田中良平
内藤潔
高作文晃
多賀俊一
村山由吏予
東海林邦信
三宅恵公
石塚功二
森田喜久
青木和夫
渡辺英志
佐川篤志
渡辺泰巨
大塚昌利
相原弘文
肥田泰敬
長澤隆昭
国府田義昭
川口利治

◆新潟県◆

関秋光
渡邊謙治
和栗昌夫
佐藤幸一
大島清之
小林謙一
田邊円祥
渡辺謙治
山田正毅
吉田存祐
八木豊
吉田一美
澤芳男

◆富山県◆

助重雄久
藤田富士夫
山本充彦
山本孝彦
清水浩二
堀田正雄
荒井美修

◆石川県◆

飯田毅
永田一考
山川知則
山本真世
高野誠一

◆山梨県◆

朝比奈玄馬
内野日総
秋山一子
屋敷元信
平野玄一
山田厚
一瀬順司
小林孝文

◆長野県◆

原親男
岡田晴雄
神田孝夫
小林英夫
大野正訓
西村善雄
前川彰子

◆岐阜県◆

井道哲志

◆静岡県◆

川口祥之
深沢新一
永井正一
島田哲生
加藤真澄
大石純厚
佐藤龍夫
植田俊和
森廣
手島英真
鎌倉靖利

◆愛知県◆

杉浦巧
澤木利氏
三浦弘喜

石黒泰良
川本英貴
伊藤友謙

◆京都府◆

山口喜佐夫
堀田泰盛
長谷川正法

◆滋賀県◆

稲田毅
杉本正光
田原秀郷

◆大阪府◆

本村雅文
興田敏夫
二ノ丸寛玄
石川義亮
鈴木良孝
菊地明彦
竹内日祥

◆兵庫県◆

三好一行
菊田泰孝
佐竹英文
河村瑞栄
日野学哉
鶴崎和宏
草壁尚也
増田秀亮

◆奈良県◆

出沖秀雄

◆和歌山県◆

木下富夫

◆鳥取県◆

櫻尾松正
石谷順一郎
大黒謙二

◆島根県◆

錦織勲夫
永井正智
熊谷健
堀江禎正
原田宏
笹部一真

◆岡山県◆

石井正宣
吉田健次
安井智賢
常井仁美
芥田英賢
大塚容二
橋内武

◆広島県◆

宮本和彦
西嶋崇明
小松教清
佐伯恵順
平裕二
吉村均
若狭広明
黒田元
佐藤敏三

兼弘一真
松本博雅

◆山口県◆

林博義
藤いね子

◆徳島県◆

音瀬泰彦
大建和久
明和由晃

◆香川県◆

町川義晃
野並美恵
加茂佳史
井上植史
佐藤安信

◆愛媛県◆

松本猛
栗田道生
森佳範

◆高知県◆

山中敏弘
岡本桂典
千崎理

◆福岡県◆

角田勝洋

◆佐賀県◆

辻雅英

◆長崎県◆

山村一雄
村田孝仁

◆熊本県◆

澤田憲治
伊藤一敏
山本生成

◆大分県◆

久長修治
秋吉信隆
杉益夫
平山次昭
桑野直大

◆宮崎県◆

柳田直人
清本英義

◆鹿児島県◆

長野正勝
森田真吾
尾上道雄

◆沖縄県◆

大城春吉
大城保夫

立正大学校友会記念講演会を開催しました

〔平成 28 年度立正大学同窓会定期総会 校友会主催講演会採録〕

「注意とエラー ～人はなぜ誤るのか～」 講師：立正大学名誉教授 山下富美代氏

はじめに

皆様、こんにちは。山下でございます。

今日のテーマは「注意とエラー」です。エラーと一口に言っても、いろいろなエラーがあると思います。日常的なちょっとしたエラー、メーカー側の部品の不都合などから起こる事故、様々な形態のものがあります。こうしたエラーの背後には次のものがあります。人 (Man)、手段 (Media)、機械 (Machine)、組織管理 (Management)、使命 (Mission) の頭文字を取って、事故原因の 5M と言っております。機械も組織管理もミッションも、すべて人が操作するものです。そういう意味で、事故の背後には何らかの意味で人間が関わっていると考えることができます。そこで少し具体的な資料を用意いたしました。

主な事故内容

平成 27 年 1 月から 12 月に起こった労災事故の内訳を、厚生労働省の平成 28 年 3 月の調査報告に基づいて表にしました。

27 年度中の死亡事故は 932 人、死傷事故は 114,292 人、重大災害は 266 件と計上されております。この内訳を比率的に順位をつけてまとめたものです。いずれのカテゴリーにおいても、交通事故の占める割合が多いことに気づかれると思います。その中でも、高齢者の交通事故が非常に多くなっています。

警察庁交通局が平成 27 年中に起きた事故調査によりまして、65 歳以上が半数を占め、歩行中や乗車中での事故が多いです。

また近年、自転車の走行中における事故も増加傾向が示されております。昨年 6 月に自転車の危険行為を犯した人には有料講習を受けることが義務づけられました。警察庁の報告によりますと、全国で危険行為が確認されたのは、昨年 15,000 件もあったそうです。ところが、この中で有料講習受講者は 24 人だったそうです。危険行為が頻発のワーストスリーは、1 位が大坂、2 位が東京、3 位が兵庫です。年齢的には 65 歳以上が非常に多く、内訳は、信号無視、横断歩道以外での横断、踏切侵入といったことが目立っています。

先ほどの労災事故の内容からも類推できますように、ルール無視、ルール違反、漫然運転というような不注意によるエラーが多いことがお分かり頂けると思います。

ヒューマンエラーとヒューマンファクター

エラーは、人間の何らかの要因によって起こります。したがって、これを「ヒューマンエラー」と呼んでいます。このヒューマンエラーの中には、「大丈夫だと思った」「みんながやっている」「急いでいたから」「面倒だから」というような様々な理由で、安全用具をつけない、定められたところで横断しない、ながら運転をするというようなことを起こしているのです。

このような予め課せられた事柄などを人が成し遂げなかった結果、生じるものがヒューマンエラーです。このヒューマンエラーの中には、様々な人間の要因が入っています。「急いでいた」「焦っていた」「大丈夫だと思った」「みんなやっているのだから大丈夫だ」という心理です。こういった作業や仕事などの活動に影響す



山下(やました) 富美代(ふみよ)氏

- ◆専門は認知心理学。
- ◆早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修了。警視庁科学捜査研究所心理職技師を経て、教職へ。立正大学教養部・同大文学部・同大心理 学部各教授、同大大学院心理学研究科委員長等を歴任。現在に至る。

【主要著書】

『集中力』（講談社現代新書）、『記憶力をつける』（日本経済新聞社）、近著に『現場の力を育てる』『不注意の心理学』『快適性って何だろう』（各日本建設工業新聞社）等がある。

る個人的および個人に影響する集団や社会の要因を「ヒューマンファクター」と言っています。

背後に潜むヒューマンファクター

ヒューマンファクターには非常に包括的な複雑的な要因があります。もちろん産業事故の中には、そうした個人的な要因だけに帰属できない問題もあろうかと思えます。

確かに産業事故も設備的要因によるエラーより人的要因によるエラーの方が多のですが、その多くは、マニュアルの不順守、マニュアルがきちんとできていなかった、マニュアルはあってもそれをきちんと守っていないといったことなのです。それは、マニュアルをつくっていなかったり、マニュアルの不備を意味しています。組織管理側のミスでもあるわけですが、これも人間側の要因ということなのです。



講演会の様子

認知機能の不全

このような、知覚、記憶、思考、判断などという人間の働きの中でも知的な働きをしているものを「認知機能」といいます。私の専門は「認知心理学」ですが、認知の中の、特に視覚的な「注意」を専門とした研究を長年やってきました。

心理学からみた「注意」とは？

この認知の働きを、どんな機能が担っているのか。私達は、日常的に「注意」という言葉をよく使っています。認知の中心で極めて重要な役割をしているのが「注意」という働きです。

「Attention, please!」と言われなくても、皆様は、今日は自発的、能動的、積極的に講義を聞こうと参加されているわけですから、そういう注意は、「能動的注意」と言います。

ところが、机をたたいたり、ドアから人が入ってきたとすると、注意は一瞬そちらに向くと思えます。

これは自分の意思とは関係なく、刺激側の条件例えば大きな音、サイレンや叫び声または、選挙カーの候補者の連呼やコマーシャルといった、繰り返し反復されるものに対しては、注意しようと思わなくても注意が自然に向きます。これを「受動的注意」と言います。

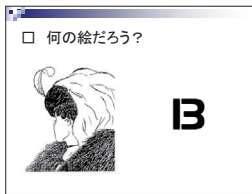
「注意」には能動的側面と受動的側面があります。「注意」をするものはよく理解されます。よく見る、よく聞く、したがって、

よく記憶に定着するという事です。「注意」は認知の働きを支える活動の源、心的エネルギーと理解されます。

心的エネルギーは無尽蔵というわけではなく、ある一定の容量を持っています。限られた資源をどの程度の範囲、どの位のレベルで配分したらいいかということが問題となります。そこでもう少し、「注意特性」について見ていきます。

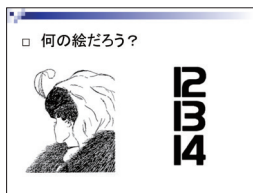
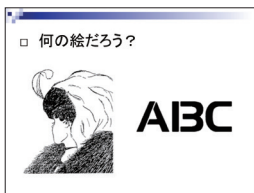
何の絵だろう？

この図の左側の絵は何の絵だと思えますか。若い女性に見える方、お婆さんに見える方と両方いらっしゃいます。これは意図的にわざわざ年老いた女性にも、見方を変えると若い女性に見えるように作った「両義図形」と言われるものです。



若い女性と見る場合には、斜め横を向いています。羽飾りのついたペールのようなものをかぶって、毛皮のコートをきて、首にはチョーカーをしています。ところが、若い女性の頬から顎にかけての輪郭線は、ユダヤ鼻と言われるような垂れ下がった鼻、首のチョーカーは引き結んだへこんだ口と見ていただくと老婆が見えてくると思えます。

今、二通りに見えるように「注意」をしたわけですが、何もいわれなければ、私たちは自分たちの見たいように見えています。環境の中にはいろいろな視覚・聴覚刺激を始めとした様々な情報が氾濫しています。それらをすべて私たちは受容しているわけではありません。無意識のうちに、ある特定のものだけに意識を向けています。その特定の対象になったものが注意の対象、すなわち知覚対象になると考えて頂ければいいと思います。



では右側は何でしょう。真ん中の文字だけに注意して頂きたいと思えます。両サイドに「A」と「C」が出ていますので、「B」と見えます。ところが上下に、「12」と「14」を付けますと、Bと思えたものが「13」と見えるはずですが、これはどういうことを意味しているかと言いますと、私たちはごく自然に前後の文脈関係などからそのように受け止めているわけです。

もう少し簡単なクイズを出します。これから言う漢字を書いてください。

- 1.“木”偏に、カタカナの“ノ”を3本、旁に書いた漢字は何でしょう。(杉)
- 2.“木”偏に、毎日過ごすの“毎”を旁に書いた漢字は何でしょう。(梅)
- 3.“木”偏に、東西南北の“南”を旁に書いた漢字は何でしょう。(楠)
- 4.“木”偏に、季節の“春”を旁に書いた漢字は何でしょう。(椿)
- 5.“木”偏に、色の“白”を旁に書いた漢字は何でしょう。(柏)
- 6.“木”偏に、黄色の“黄”を旁に書いた漢字は何でしょう。(横)

さて、ここで問題は、1から5までは、全部漢字で書いていった方はお分かりだと思いますが、木の種類です。ところが、最後は今までと反応時間が遅れた人がいませんでしょうか。この字だけは木の種類ではありません。タテヨコの“横”という字になります。

これは、先行経験という今までの過去経験や習い覚えたことが、私たちの内部にはストックされているわけですが、そうした先行経験や知識などの影響によって、自分では意識しないが、期待や

予期といったものを持って日常の刺激に対峙しているのです。

このように、期待や予期などの働きによっても、注意はある特定のものに向けられがちだということがお分かり頂ければいいのではと思います。

注意の特性

「注意」にどんな性質があるかを、少し詳しく話していくことにします。先程、注意には、能動的・受動的の2側面があると申し上げました。2つの側面に対して、注意の特性を選択・配分・持続の3つを挙げました。これを「注意」の2×3特性と呼んでいます。



注意特性と行動例

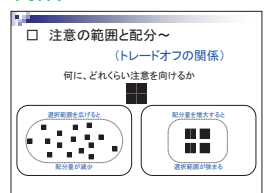
もう少し、具体的な行動例を各特性ごとに挙げてみましょう。能動的側面における選択・配分・持続については、例えばドライバーが運転中に歩行者の有無に気を付けるというのは、視野に歩行者がいるか否かを選択的に注意している。更に運転に慣れてくれば、助手席に座った人と会話をしながら、あるいは音楽を聴きながら運転をすることができます。運転操作と会話の両方にバランスよく注意を配分しているわけです。

ところが、受動的側面ではどうでしょう。運転中に携帯電話をしたり、スマホをいじりながら自転車に乗るような「ながら運転」が危ないのは、自分ではバランスよく注意を払っているつもりだが、つい会話の中身に気を取られる～相手が不愉快になることを言った、不安なニュースを聞いたとなると、そちらの方により注意が振り向けられます。そうすると、運転がおろそかになってしまうことが起こるわけです。

このように、能動的な側面はコントロールすることができますが、受動的な側面は自分の意志によってはなかなかコントロールすることができません。「私は注意深くやっているから、ながら行動なんていくらでもできる」と思うと、とんでもないことになります。

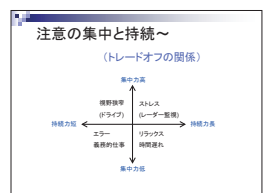
注意の範囲と配分(トレードオフの関係)

図に示したように注意の範囲と容量はトレードオフの関係にあります。集中と持続の関係も同様です。集中度を縦軸に、持続力を横軸に取ると4つの象限ができます。この中で最もストレスフルな状況は、第1象限(集中力高・持続力長)の状況です。コントロールタワーの監視業務などをやっている人は、極めて長時間、しかも複雑な機器類のレーダー上の変化を見なければなりません。非常に難しい仕事です。



このストレスフルな状況と対極的な状況にあるのが第3象限(持続力短・集中度低)です。いやいや与えられたことをやっているといった義務的な仕事に関わるような状況です。

第2象限は、持続性は短いが極めて集中力が高い、例えば瞬発力を要求されるスポーツであったり、ここの勝負にかけるような非常に極限的な状況等で発揮されます。これは一種集中型ですから、注意の対象になるものは意識的に明確になりますが、その



他のものは周辺的になります。視野狭窄に陥ると言えます。

催眠についてはご存じだと思いますが、催眠状況というのは、催眠者の暗示のみに注意が集中している状況を言います。集中が高まれば高まるほど、明確に意識される範囲が縮小しますから、音がするのを分かっているが、自分の意識の中に入り込まない。催眠をどんどん進化させていくことによって、トランス状況に入っていきます。

第2象限の対極にあるのが第4象限です。これは非常にリラックスした状況です。集中力は要求されず、持続性はかなりある、くつろいでいたり、慣れている仕事なので緊張を要さない状況です。単調な仕事だと飽きがくることがあり、エラーが起きないわけではありません。

怖い「安全慣れ」～安全と安心の二律背反性

適度な緊張感を持って事に臨むことがいかに大切をお話します。安全な生活は安心が基盤です。安全に対する対極的な概念は危険です。安心に対する対極概念は不安です。しかし、私たちの日常は万一自分がボカをやっても誰かが助けてくれる。あるいは、安全装置が働いて誤作動を防いでくれる。こういったことがあると安心してしまいます。安心をするあまり不安を持たなくなる。「いくら安全生活、安全生活と言っても、大したことは起きないだろう。今まで何も起こらなかった。これから先も大丈夫だ」と、タカをくくることが非常に危ないのです。

慣れによる危険認識の低下

つまり、適度な安全不安を持つことが大切です。慣れきってしまうことがいかに危険であるかということを、私たちは知るべきではないでしょうか。安全不安を持っていれば、注意はそれとなく働きます。顕在的に危険だとは思わないが、隠れた危険要素があるのではないかと、危険に備える構えをつくることになります。そういう意味で、適度な不安を持つ。すなわち、適度な緊張感が大切だと申し上げたいのです。

「不注意」エラーの代表

日常のエラーの代表には次のようなものがあります。

- ① 見落とし、聞き落とし、見誤り、聞き違い、ミスタイク(勘違い) …知覚系におけるエラー
 - ② 記憶不全、混同、細部消失…記憶系におけるエラー
 - ③ 誤解釈、誤適用、判断停止(エポケ) …判断系におけるエラー
- 知覚系のエラーは、視覚・聴覚刺激を与えられた時に、十分に注意していなかったために起きます。

記憶系のエラーは、うる覚え、早合点、「分かった、もう言わなくてもいい。もう読んだ」というようにきちんと記憶していない。あるいは時間が経つにつれて細かなことはどんどん忘れ去られていき、細部は消失してしまう。もしも、警察に証人と呼ばれ、事細かに聞かれても、メモでもとっていない限り分からないので応じられません。また、自分の中でつじつまの合わないことは、つじつまが合うように、自分で分かりやすいように加工する傾向が人間にはあるので、混同ということも起こります。

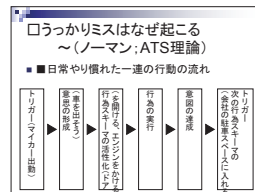
こうした記憶不全があれば、それを取り出して使わなければならない時に誤った解釈をする、誤った適用をするということが起こります。さらに、人間は感情の動物だと言われています。いついかなる時も冷静に行動する、沈着に反応するとは保証されていません。パニックルという言葉もありますが、「感情的に興奮のあまり頭が真っ白になる」とよく言います。判断停止(エポケ)は頭が真っ白な状態を言います。エポケとは古代ギリシャ語で、元は停止、保留、中断といった意味だそうです。それが哲学に

引用され、さらに心理学でも使っています。どうしていいかわからない状態で、手も足もでなくなり、押さなければならないスイッチを押せない、連絡を取らなければならないのに連絡を入れないといったエラーが起きます。

うっかりミスはなぜ起こる(ノーマン;ATS理論)

認知工学者ノーマンがATS(Activation Trigger Schema)理論を展開しています。うっかりミスがなぜ起きるのかということ、日常のやり慣れた一連の行動の流れから見ていきます。

意識的に1つずつ書き出すと、



に示したように、例えばマイカーで毎日会社に出勤をしている場合は、マイカーで出勤がトリガー(引き金)となって、車を出そうという意思が形成されます。そして、意思の形成に基づいてドアを開ける、エンジンをかけるという行為スキーマが活性化されます。スキーマとは知識のまとまりを言います。知識という抽象的概念だけでなく、体で覚えた動作に関連する動作スキーマが、私たちの体の中に蓄えられています。記憶は一切失われてしまったが自転車には乗れる。車の運転はできる。ピアノは弾けるといったことがあります。これらは体で覚えた動作スキーマが駆動されるからです。こうした蓄えられた動作スキーマが車を出そうとする意志の元によってアクティベートされる。活性化するという事は、準備状況ができてスタンバイOKということ。そしてドアを開け、安全ベルトを締め、エンジンをかけるという一連の行為が行われ、運転をするという行為が実行されて会社に着きます。会社に着けば定められた駐車スペースに車を止めるという行為がまたなされるわけです。そういう一連の行為が繰り返し行われていることを意味しています。

いつも会社に車でやっている人が、久しぶりに森林公園に行こうと思って車を出すと、知らないうちに会社に向かって走っていたということがあるかもしれません。これがうっかりミスです。動作の実行段階のエラーは、やり慣れている車の運転をするというトリガーによってアクティベートされています。つまりいちいち意識的に公園に向かう道順をたどっているか否かを確認しなくなります。うっかりミスはこうしたことで起こります。

日常に多い「うっかりミス」と「勘違い」

日常、非常に多いのはうっかりミス、勘違いだと思います。エラーの中にはいろいろな種類のエラーがありますが、私たちは厳密に区別して使ってはいません。

うっかりミスは行動の段階で起こるので、アクションスリップというのが正しい言い方です。エラーの中にはこうしたスリップもあれば、ミスタイク(勘違い)もあります。講演中の山下先生

思い込み、取り違えは、動作の行動段階だけでなく、それ以前の認識や判断の中で起こるエラーです。先程、きちんと記憶をしていない、しっかり覚えていない、だから頭の中に定着していないと言いましたが、頭の中の情報処理がきちんと行われていないのは、頭の中の情報処理不全を意味しています。あるいは、独断、偏見が優先している。きちんとした情報に基づいていない。このようなことが勘違いの起こる原因とされています。

意図を行為に移すプロセスで無意識的にいろいろなエラーが起こります。行為スキーマは階層的に私たちの頭の中にしまわっていて、やり慣れた行動は意識せずにやっています。そのやり慣



講演中の山下先生

れた行動は、上位の行動目標を達成するためにいくつもの細かい下位のスキーマに基づいて行わなければならないのですが、通常は、上位スキーマが活性化して、下位スキーマがおろそかになってしまいます。そのためにうっかりミスが起こります。

「ボケ型」「ドジ型」～エラータイプの特徴は？

■エラータイプ質問表	
1. 濡し物または忘れ物をした	
2. つまずいて転びそうになった(またはつまずいた)	
3. 電気のスイッチやコンセントを切り忘れた	
4. 茶碗やコップをひっくり返した	
5. 車で電話をしようと思ったのを忘れた	
6. 手に取ろうと思ったのに指が滑り落ちてしまった	
7. 持ち合わせの財布や鍵を落とすのを忘れた	
8. 熱い食べ物や飲み物を口に入れて舌をやけどした	
9. 道中では行きをポストに入れておいたのに忘れてしまった	
10. 必要な道具を忘れたまま出発してしまっていた	

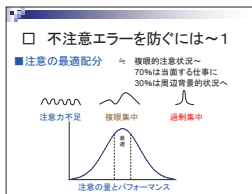
■エラータイプの判定	
奇数番号の項目(記憶因子) ○が5個以上	①「ぼんやり」タイプ
偶数番号の項目(記憶因子) ○が5個以上	②「大ボケ」タイプ
奇数番号の項目(注意因子) ○が5個以上	③「あわて者」タイプ
偶数番号の項目(注意因子) ○が5個以上	④「ドジ」タイプ
奇数番号の項目、偶数番号の項目とも○が多い	⑤「ドジ」兼「ボケ」タイプ

自分がどういったエラータイプであるかを自己評価する質問表を用意しました。この質問表は後でご自分でやってください。

不注意エラーを防ぐには～1

注意力をアップするにはどうしたらよいのかという話に移る前に、ベーシックな事柄を挙げてみました。

注意の最適配分と書いてあります。この図は横軸に注意の量、縦軸にパフォーマンスをとっています。最もパフォーマンスが上がるのは山の高いところです。パフォーマンスを上げるためにはどの位の注意の量を注げばいいのかが問題になります。「複眼的な注意状況をつくれ」とあります。今やっていること、直面していることに、70%の注意の量を向け、30%は周辺のことに向けなさいということです。注意というものは、本来固定的ではありません。それを無理やり固定してしまうと、固定された対象以外から重要なサインや情報があっても、それを見落としてしまふこととなります。そういう意味で、70%程度を当面するものへ、30%程度を周辺へと複眼的な状況をつくるのが、注意の最適配分だということです。もちろん、過剰集中や注意力不足は論外です。



不注意エラーを防ぐには～2

私たちは、エキスパートは誤りを起こさない、初心者だから誤りを起こすと思いがちですが、そんなことはありません。慣れても不慣れでも誤りは起きます。慣れていくと注意は意識的に払わなくなります。注意の自動化です。うわの空でやっている。もしかすると状況はいつもと違うかもしれないが、それに気がつかない。ベテラン・バイアスと言われている誤りが生じるわけです。

初心者はどうか。例えば、初めて運転をする人は、技術も未熟でルールもよく知らない場合があります。ハンドル操作だけに気を取られる注意の集中化があるかもしれません。これもエラーを起こします。

見逃し・見誤りの原因に

見逃し、見誤りの原因は、注意レベルの低下と一極集中化によって起こります。見誤りは注意の集中が一極化していると起きやすい。見逃しは警戒心が緩んでいる時に起こります。

エラーの対処法～1「注意力」の強化

エラーを防ぐにはどうしたらいいの。注意力をアップさせる具

体的な方法に移ります。自分自身でコントロールが可能な場合と、自分でコントロールできない場合という2つの側面に分けてみました。

自分でコントロールできる場合(能動的側面)については、「注意の特性について」で表面的ではありますがお話ししました。自己評価で自分の特性を知ること必要だと思います。

セルフモニタリングとは、自分で自分をよく見る、観察する、内省することを意味します。これについては後でお話しします。

気分がのったら一気呵成にガンガンやってみよう。徹底でもやる。食事を忘れてやる。こういう人もいらっしゃるかもしれませんが、パフォーマンスを上げるためには、適度の休憩を入れる。ワンパートずつ細切れにやります。休憩効果は疲労の回復だけでなく、細切れにやれば、ワンパートずつ達成できたという達成感があるので、次のやる気、意欲が起こることにもなります。そういう意味で、休憩管理は非常に大切だと言われています。

頭の中のを外に出す。注意の外化です。例えば、駅のホームで駅員が「右よし、左よし」と指さし呼称をしていますが、そのように、頭の中のことを動作に出す、声に出す、話す、書くといったことをお勧めします。さらに、自分では気がつかないのであれば、注意を引くようなデザイン、例えば、警告表示や注意喚起に変化をつける、目立つようにする。気が散る環境であるならば、音や視覚的な雑物をマスキングする。音であれば耳栓をしたり、視覚であればスクリーンで囲ったり、つい立てを立てたりして、最適な環境を設定することです。

注意の自己管理

「メタ認知」の「メタ」は形而上という意味ですから、「メタ認知」をそのまま訳せば「認知の認知」です。私たちは自分がどういう人間かある程度知っています。自分は何を知っているか。何を知らないか。今自分は何をやるようとしているのか。どうしたらいいの。こういったことを「メタ認知」と言います。

このメタ認知能力を上げるためには、3つのやり方があります。自己モニタリング、自己コントロール、内省・反省の習慣化です。内省・反省の習慣化はエラー日誌をつけるのが一番いいとされています。毎日、一日を振り返って、どんな些細なことでもいいので、どんな失敗をどんな状況でやったのか、その時の自分の状況はどうであったのかを簡単にメモすればいいのです。このエラー日誌は非常に有効です。

セルフモニタリングとは？

自己モニタリング、自己コントロールをどうすればいいのかについて、図でお話しします。

頭の中にもう一人の自分がいて、自分のやっていることをよく見ている。これがメタ認知です。通常は頭の中の動きをきちんと意識してやっているわけではありませんが、図では、頭の中の動きを6つに分けてみました。

先ず、私達は外から与えられた目標(外部目標)を自分なりに達成しようとして、自己目標をつくります。この自己目標に基づいて計画づくり(プランニング)をします。その計画にそって行動します。その行動を観察します。観察した結果、目標に近づいているのか、ずれているのかを検討・評価をします。目標に近づいていけば強化すればいいし、スピードアップすればいい。もしずれていけば調整をしなければならぬ。このように頭の中の動きを良くするには、頭の中の一つひとつの動きをきちんとでき



ようにする。すなわち、コントロールするということです。したがって、セルフモニタリングは、それぞれの働きをうまくコントロールすることによって、機能できると考えて頂ければいいのではと思います。

エラーについての考え方を考える

- ・失敗したのはその人（本人）が悪い
- ・失敗はするべきではない
- ・失敗で与えた損害は全てその人が償うべきだ
- ・注意すれば失敗は防げるはずだ
- ・失敗は気の緩みから起こる

皆さんの中には、この5つの項目を肯定的に思った方もいらっしゃると思いますが、イエス反応が多いほどエラーについての考え方を考えたほうが良いと思います。と言いますのは、記述したものは、すべてエラーについてのネガティブな側面です。

エラーの二面性を知る

エラーにはネガティブな側面とポジティブな側面があります。ネガティブな側面ばかりが強調されると失敗隠しになってしまいます。隠してしまうと、後でどうしようもなくなります。行動を広げていくためには、内側に閉じこもって暗いイメージでやるのではなく、エラーをすることを恐れない、もっと大胆にチャレンジをしていこうと前向きな姿勢になることが必要です。エラーから学ぶこともあるのです。

エラーから学ぶ

人間は完全無欠ではありません。どうせエラーをするなら、エラーをしながら賢く生きていくという考え方をしないといけないと申し上げたいと思います。

つまりエラーとの共存を図る、そして、人から言われる前にエラーに自ら気づく。そのためにも自己モニタリング、エラー日誌が役立つのです。

エラーの対処法～2

エラーの対処法として、いろいろなことが書かれていますが、もう少し分かりやすくするために、具体的な例を挙げたいと思います。

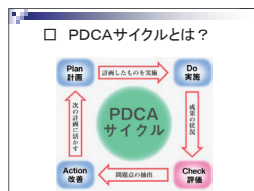
最近のパソコンにしる、機器類にしる、極めて操作しやすいデザインになっています。誰が見ても分かりやすいデザインにすることは、ユニバーサルデザインという、ヒューマンインターフェイスに基づいた設計と言われています。ですから、失敗を恐れない。万が一失敗しても、安全装置が働いてくれますから、なるべく試してみる必要があります。そういう意味でシミュレーターを使うことも必要になります。

エラーの予想を立てる～PDCAサイクルからのモニタリング

エラーの予測を立ててPDCAサイクルをするとありますが、このPDCAは元々生産管理におけるサイクルですが、エラーについても言えるのではないかと思います。

PDCAサイクルとは？

エラーから学び、エラーをしないためには、(P) まず計画がきちんと目標の達成に相応しいものであるかどうか。(D) その計画に従ってやってみる。(C) やったことをチェックする。チェックした結果、(A) 改善



があればそれをする。このPDCAをずっと繰り返し行えばいいわけです。

私どもの日常は、このPDCAサイクルに沿ってやるのが一番ではないかと思います。

まとめ～安全・安心生活に向けて～

皆さんはハインリッヒの法則をご存じでしょうか。これは一つの重大な事故の背後には、軽い事故があり、更にその背後には小さないくつものトラブルがあり、事故は確率的に生じるというものです。したがって、大事に至る前に極めて小さなトラブルをなくしていく。そのためには、ヒヤリハット体験学習や回避訓練、疑似的パニック条件をつくって、その時にどんな感情を覚えるのかを肌で知ることを学習させるのが一番良いということです。

私の話は以上です。ありがとうございました。



山下先生に花束贈呈している様子



ご挨拶

立正大学同窓会会長 野坂 法雄



**大学が冬の時代を迎えようとしている今、
同窓会の役割は重大です。**

本年4月に発生した熊本大震災、多くの尊
い生命が失われました。心よりご冥福をお祈
り申し上げます。また、被災され、未だにご不自由な生活
をおくられている方々に、一日も早く、安穏な暮しが実現さ
れることを心から願っております。

さて、この度2期目の会長を承り、大変恐縮しております。
加えて、6月25日の総会に「欠席」という失礼をして、深
くお詫び申し上げます。5月20日、或るお寺の落慶式に参
列し、立派に仕上がったご宝前を拝見していた折、フツと漆の
臭いを感じました。そこから始めて約2ヶ月間、頭から体
中に腫れと痒みが襲い、連続30日間静脈注射を受け、最
近ようやく少し収まってくれました。

同窓会活動で、今もっとも取り組むべき課題は、支部・学
部ともに役員が高齢化していること、そしてその活動が低迷
している支部があるという現状への対応です。これには大学

との連携を密にして卒業生の住所を把握し、各種の同窓会
活動に極力参加を薦めていく必要があります。このことに努
めています。

従って、同窓会本部として支部活動の活性化・再活性化に
積極的に活動支援を推し進めてまいります。

また、会員の皆様にお力添えを願っているのは、まず入り
口のことです。皆様のご家族をはじめ、地域社会に大きくア
ンテナを張っていただき、入学者を送り込んでいただきたい
のです。さらに出口のこと、つまり卒業生の就職のお世話を
願いたいのです。勿論、皆様のそういう活動を力強くバック
アップする為、同窓会としていろいろな条件を整えたいと思
います。どうか多くのご提案をお寄せくださいますようお願い
いたします。

これからの時代の変化の中で、大学を支える力は、同窓
会に依るところ大なるものがあります。どうか皆様のご理解
と、お力添えをお願い申し上げます。

立正大学同窓会主催

「立正大学物故者追善法要」開催報告

6月13日(月)立正大学品川キャンパス532教室にて、立正大学同窓会主催「立正大学物故者追善法要」が行われ、
導師を野坂同窓会長が、副導師を北原仏教学部同窓会長と浅井仏教学部同窓会副会長が、式衆、知堂を仏教学部同窓
会の方々を務めました。

法要には、大学関係者、同窓会、在学生および、地域の方々等、総勢140名が参列し、立正大学に関わる全ての零
位に祈りをささげました。



法要の様子



法要中の在学生・卒業生の様子



来賓



来賓

平成28年度

立正大学同窓会定期総会報告

同窓会副会長 西岡 勇治



懇親会を品川キャンパスにて盛大に開催

平成28年度立正大学同窓会定期総会は6月25日(土)に、品川キャンパスの9B23教室で開催されました。この教室は、

元立正中学・高校の校舎で大学用に改装された教室です。しかし、全国から沢山の同窓生を迎えるには、少し手狭な教室でした。次回の開催には参加者の人数を多めに見積もり、会場を確保したいと思えます。さて、定期総会は3部構成で盛大に開催されました。



当日の看板



古河学園理事長による挨拶

この同窓会総会には、大学側から古河理事長・齊藤学長様などの来賓を迎え開催されました。

第1部は立正大学校友会主催の講演会。「注意とエラー～人はなぜ誤るのか～」という演題で山下富美代先生(立正大学名誉教授)から貴重なそして興味深い講演を多くの同窓生と共に拝聴いたしました。



齊藤学長による挨拶

第2部定期総会は、開会のことばに続いて物故者追善(玄題三唱)を仏教学部同窓会の役員の方々に執り行っていたいただきました。その後三澤同窓会副会長が総会参加への感謝の挨拶を行いました。引き続き、岩手県支部の支部活動10年を表彰し、三澤同窓会副会長から、活動表彰状を授与いたしました。そして



追善法要の様子

議長団を選出し、27年度の活動報告と決算報告。さらに28年度の事業計画と予算を報告いたしました。この報告には沢山の質問や提案をいただきました。同窓会本部理事会として、今後同窓会をさらに活発に機動力ある組織

にしていくために有益な検討課題も宿題としていただくことができ、有益な定期総会となりました。

第3部は、全国から集まった同窓生の懇親会で、品川キャンパスの第2食堂レパストで開催いたしました。まず



10年支部表彰の様子

初めに参加者全員の集合記念写真を撮影し懇親会をスタートいたしました。二ノ宮啓吉同窓会名誉会長の乾杯の御発声で和気藹々とした懇親が始まりました。こちらにも100名を超える多くの同窓生が集い各テーブル毎に懇親の輪を深め、また他のテーブルの同窓生とも懇親の輪を大きく広げていただくことができました。多いに盛り上がり、あっという間に2時間が経過するという楽しい時間を多くの同窓生とともに過ごさせて頂きました。



乾杯の首頭をとる
二ノ宮同窓会名誉会長

素晴らしい同窓会総会が開催できたことに皆様に感謝申し上げます。そして、来年の熊谷キャンパスでの定期総会で全国の多くの同窓生と再会できますことを祈念して総会報告とさせていただきます。



懇親会会場の様子



集合写真

同窓会支部総会開催報告

【北海道支部】

- ◆ 8月27日(土)
- ◆ 札幌市:センチュリーロイヤルホテル
- ◆ 講演会:「生きがい、やりがいを育てる」土屋公三氏(ノーマライゼーション住宅財団理事長)
- ◆ 出席者: 11名
- ◆ 清水昌樹同窓会副会長出席



【青森県支部】

- ◆ 8月20日(土)
- ◆ 八戸市:八戸パークホテル
- ◆ 出席者: 9名
- ◆ 三澤金一朗同窓副会長出席



【栃木県支部】

- ◆ 7月30日(土)
- ◆ 宇都宮市:宇都宮東武ホテルブランド
- ◆ 講演会:「対人コミュニケーションの心理学」笠置遊氏(立正大学心理学部専任講師)
- ◆ 出席者: 19名
- ◆ 野坂法雄同窓会会長出席



【群馬県支部】

- ◆ 7月2日(土)
- ◆ 高崎市:メトロポリタン高崎
- ◆ 出席者: 8名



【岐阜県支部】

- ◆ 7月3日(日)
- ◆ 岐阜市:ワシントンホテル「銀座八丁」
- ◆ 出席者: 6名



【京都府支部】

- ◆ 6月27日(月)
- ◆ 京都府:京都センチュリーホテル
- ◆ 出席者: 10名



【大阪府支部】

- ◆ 7月9日(土)
- ◆ 大阪市:ホテルアウイーナ大阪
- ◆ 出席者: 20名



【香川県支部】 夏期研修会

- ◆ 8月7日(日)
- ◆ 偕行社 普通寺市役所
- ◆ 出席者: 10名



四国地域立正大学の集い

平成28年度立正大学同窓会・立正大学橋会共催「四国地域立正大学の集い」を開催しました

平成 28 年 9 月 3 日 (日) に高松市にありますリーガゼスト高松にて、平成 28 年度立正大学同窓会・立正大学橋会共催「四国地域立正大学の集い」を開催しました。当日は齊藤昇立正大学長、野坂法雄同窓会会長はじめ同窓会本部役員、佐々木盛徳橋会会長、同窓会四国四県支部の方々、在校生ご父母、多数の皆様にご出席頂き開催されました。同窓生と在校ご父母が一緒に懇親会は、地元就職についての情報交換の場となりました。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。



野坂同窓会会長による挨拶



保護者説明会で話す西岡同窓会副会長



齊藤立正大学長による挨拶



加茂同窓会本部理事による挨拶



懇親会の様子



集合写真

平成 28 年度

立正大学郵政会 活動状況について

郵政会会長 市川 幹

会員の皆様お変わりなく、お元気で過ごしの事とお慶び申し上げます。会員の皆様の物心のご支援により、多難を乗り越え、環境に対応しつつ順調に発展しております。

これも偏に会員の皆様が郵政会を愛し、母校の為に献身的にご支援を頂き、ご自身お一人ひとりが職務に精励され、郵政会の信用を高めて頂いたお陰で感謝申し上げます。



市川会長

さて、今年の活動状況ですが、4月11日に品川キャンパスにて校友委員会報告準備・総会準備の為、役員会を開催致しました。また、4月20日の校友委員会にて郵政会活動報告・収支決算報告・監査報告等につきまして承認



活発に意見が交わされた会議

を頂きました。6月18日には、同じく品川キャンパスにて役員会、支部代表者会議、東京支部・関東支部合同総会、平成28年度通常総会を開催し、27年度の事業報告・収支決算報告・監査

報告、28年度事業計画・収支予算報告・役員改選案のそれぞれについて承認されました。また、全国郵便局長会福岡総会の見学にも行ってまいりました。さらに、業界紙の支援を受け、5月25日の「通信文化新報」という新聞記事に郵政会について詳しく掲載されています。

これからの郵政会は、入学一教育一日本郵政グループ就職一母校の為に支援する、という循環型で活動していきたいと考えております。平成30年10月に品川キャンパスにて、郵政会60周年記念事業を予定しております。ご参加を心からお待ち申し上げます。

郵政会には会員各位の会です。郵政会に入会して良かったと感じる、理想的な会に皆さんといたしましよ。ご支援をお願い致します。



学生会員と一緒に。右から2人目が市川会長

平成 28 年度

橘会保護者懇談会開催報告

今年も、各地で保護者懇談会が始まりました。社会情勢の変化が激しい中、学生のおかれている環境は厳しいものとなっています。その中で、先生方より直接学修や就職についてお話が伺え、保護者の方同士の情報交換ができるのが、この懇談会です。今回は、東京・秋田・静岡・さいたまの開催報告と、保護者の方より寄せられた声を掲載いたします。

東京会場



- 日にち：平成28年6月5日（日）
- 会場：立正大学 品川キャンパス
- 参加数：427人

保護者懇談会に参加して 池谷明代（静岡県）

6月5日に品川キャンパスで開催された、保護者懇談会に参加させていただきました。今回は、学部の先生方が個人面接をくださるとということで、静岡県から参加させていただきました。まず全体会があり、「父母のための就職講座」も開催されました。

さて、今年3年生になった息子は、東京で一人暮らしをしています。夏休みも、年末年始も静岡へは帰らず、メールしても、なかなか返信はありません。こんな調子なので、どんな学生生活を送っているのか、さっぱりわかりません。1年生の時なんかは、順調に単位を取得しましたが、2年

生で取得した単位は、なぜか少なく、このペースで大丈夫か心配になり、参加させていただきました。個人面接を担当してくださった、各学部の先生がとても多く、先生ひとりひとりの熱心さが、感じられました。とても有り難い事だと思いました。個人面接は、あらかじめ担当の先生と順番が決められており、生徒さんたちが、手際よく案内してくださりました。私を面接してくださった先生は、先日息子と会話をしたばかりと聞き、安心することができました。緊張はしましたが、先生に、質問や心配事を相談させていただきました。先生方は、過年度の成績、本年度の履修内容、来年度の見通しまで、とても丁寧に説明してくださりました。また、保護者としてできることも、アドバイスしてくださり、とても有意義な時間になりました。思い切って来てみてよかったと思いました。

最後に、このような機会を設けていただき、ありがとうございました。教職員、橘会の役員の皆様に感謝申し上げます。

秋田会場



- 日にち：平成28年6月18日（土）
 - 会場：ホテルパールシティ秋田 竿燈大通り
 - 参加数：27人
- 保護者懇談会に参加して 高橋守（秋田県）

自然豊かで星のきれいな「秋田」から、自身で選択した「夢・道」へとつながる「品川キャンパス」へ向かった娘も、早いもので2度目の夏を迎えようとしています。穏やかな気候に恵まれた6月に、妻と2人で初めて橋会保護者懇談会へ参加させていただきました。

全体会では、教職員・役員紹介に始まり、田中橋会副会長の親しみある御挨拶より、和やかな雰囲気が始まりました。大学の近況等については、水上学事課長様と石松学生部長様より、具体的で分かりやすいお話をいただき、更に齋藤学長様からのメッセージ映像も紹介され、立正大学の知識を、より深めることができ、大変貴重な機会となりました。「父母のための就職講座」では、具体的な様々なケースの紹介もあり、就活のポイントを、明確に指示している講和内容で、たくさんの知識を得ることができました。吉岡課長様の、学生たちに対する熱意に加え、保護者目線と同じ愛情的なものを感じ、安堵感を覚えました。立正大学が、就学のみならず就職への対応についても、力強くサポートくださる体制を築いてくださっていることを知り、自分たちも、今回の就職講座の内容を踏まえるとともに、「保護者のための就活読本」を参考に、できる限りサポートしていかなければと、再認識いたしました。

参加者の皆さんとの記念撮影のあと、個人面談に移り、吉岡課長様から、我が子の状況を踏まえた、今後の就学と就職に対するアドバイスをいただき、娘にもその内容を伝えるとともに、更に自分自身のため、努力を惜しまないよう、早速アドバイスしたところです。

軽食等による保護者間の懇親の機会ともなる橋会保護者懇談会は、大変有意義なイベントだと感じます。立正大学並びに橋会の役員、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

さいたま会場



- 日にち：平成28年8月6日（土）
 - 会場：ホテルラフさいたま
 - 参加数：63人
- 保護者懇談会に参加して 下山京子（埼玉県）

1、2年と、品川キャンパスでの保護者懇談会に参加させて頂いておりましたが、今年は、初めてさいたま会場に参加させて頂きました。日頃娘が通っている大学の様子が見られないのは残念でしたが、駅から近く、落ち着いた雰囲気の中で、1人でも安心して参加することができました。

初めに、全体会のお話の中で、高大接続に力を入れていることを知り、今の教育の流れを把握して、対応されていることを、嬉しく思いました。小一ギャップの解消や、小・中一貫教育の推進が注目されていることに加え、高校と大学の接続など、学校間の円滑な接続は不可欠です。その上に立って、大学の特色ある教育を進めて下さっていることに感謝しています。

次に、品川キャリアサポート課長、草川先生の「父母のための就職講座」を、拝聴しました。社会情勢が変化していること、2016年卒から就職活動スケジュールが変更となったこと、さらに2017年度卒業生の選考開始時期を、6月に前倒しする方針であることなど、現在の就職環境の厳しさを知りました。キャリア教育の重要性を痛感し、インターンシップへの取組や、エントリーシート記入等で、親としてもできるだけ応援してあげたいと思いました。

最後に、個人面談では担当の下垣先生から、娘の大学での学習の様子について、詳しくお話を聞くことができました。ゼミでの取組状況等について、ゼミの先生の所見をもとに、丁寧に教えて下さいました。また、質問に対して、パソコンですぐ調べて答えて下さったり、迷っていたらキャリアサポートセンターを活用することを、勧めて下さったりと、短い時間でしたが、充実した内容でした。親として、学習面、就職活動面で、本人がポジティブに望めるよう支援していきたいと強く思いました。

この会の開催にあたり、準備や当日の運営に尽力された先生方、橋会の皆様により感謝いたします。次回を楽しみにしております。

静岡会場



- 日にち：平成28年7月3日（日）
 - 会場：CSA 貸会議室・貸ホール 山口駅前ビル
 - 参加数：35人
- 保護者懇談会に参加して 岩崎仁・るみ（愛知県）

昨年、参加させて頂きましたが、今年も、昨年同様妻と2人で、静岡会場の保護者懇談会に出席いたしました。熊谷キャンパス内のユニデンスに、お世話になっている息子は、2年生になり、大学での学業、ユニデンスでの一人暮らし、初めて取り組んだバイトなど、やっとなれてきた時期だと思えます。ただ、関東地方も地震が度々あり、ニュース速報の度に心配して、遠く離れた息子の身を案じ、無事を祈るばかりです。

静岡会場の保護者懇談会では、佐々木会長の、とてもユーモラスなご挨拶から始まり、大学の近況を、安永学事部長様に女子ラグビー部の活躍などご報告をいただきました。そして、キャリアサポートの草川課長様より「父母のための就職講座」として、学生生活として何よりも「まずは、健康第一」というお話から、現在の就職状況、今後のスケジュール等資料を交え、とても細かく例を挙げながら、分かりやすくご説明をしていただけました。

息子は、まだ2年生ではありますが、中学生のころからの夢である目標の職種に向け、学業に専念していることと思えます。しかしながら、今なお就職率の低い中で、希望通りの職に就けるのかを、常に懸念しています。

立正大学には、設備の整ったキャリアサポートセンターがあり、個人での情報収集だけでなく、カウンセリングも行ってくれています。キャリア開発基礎講座、インターンシップを上手に活用して、専門ゼミの先生方に相談しながら、目標に向けて頑張りたいと願っています。

最後に、この様な懇談会を毎年開催して頂いている職員の皆様、橋会の役員様に、こころより感謝申し上げます。毎年参加させて頂き、息子の就活の支えになれるように、努めていきたいと思えます。

東京会場・静岡会場



- 会場：東京会場・静岡会場 2会場に参加
- 神山孝行・フェリサ岳子（静岡県）

今年は、品川キャンパス・静岡会場で行われた保護者懇談会の両方に、主人と2人で参加させていただきました。今年は、息子が3年生になることもあり、詳しい情報が知りたいと思ったので、法学部の教授と個人面談等できる方がよいと思い、今回は、初めて品川キャンパスの方にも出席させていただきました。

個人面談は、息子の所属しているゼミの先生と行いました。成績のことや、ゼミ活動での様子、今後の進路について等、数分という短い時間ではありますが、いろいろと聞くことができました。

ほかにも、品川キャンパスでは、静岡会場ではないようなプログラムがあったので、以前よりも、新しい情報を得ることができ、非常に有意義でした。思い切って、行ってよかったと思います。

「父母のための就職講座」については、品川・静岡の両会場で開催されました。講座の内容は、例えを用いて説明して下さったので、非常にわかりやすかったです。

特に、印象に残ったのは、自分を見つめ、そこから関連する仕事は何か探していく、という方式についてのお話です。草川課長は、スポーツ観戦は好きですが、スポーツができない人を引き合いに出して、説明しておられましたが、具体的にイメージがしやすく、ためになりました。

他方、静岡会場では、各県ごとに持っている就職情報サイトの活用方法、静岡県へのUターン就職率は比較的高いこと等、地元に関する情報を、多く得ることができました。

このほかにも、静岡会場では、公務員のインターンシップがどのように影響するのかについても、お聞きすることができました。結果、公務員のインターンシップは、あくまで意識を高めるためのものであり、採用に直結するわけではない、という情報が得られたので、良かったです。最後に、このような貴重な時間を設けていただき、感謝申し上げます。



『思考する射手座』

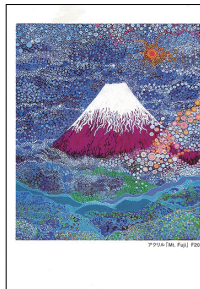
思考する射手座

中澤 吉勝 (なかざわ よしかつ)
 本名: 齋藤 吉勝 (さいとう よしまさ)
 (昭和 62 年 文学部国文学科卒業)

Amazon Kindle 版 アマゾン電子書籍
 定価 300 円 (税込)

【お問合せ】

yoshimasa1264@gmail.com



Mt. Fuji
 (田中章夫 作)

◆ 田中 章夫さん

(昭和 43 年経済学部商学分科卒業)

卒業生である画家の田中章夫さんが、国内外問わずこれまで多くの個展を開催し、ご活躍されております。

また、秋田県仙北市角館町にて作品の展示・販売を行う、「角館の革館」を経営されており、画集『田中章夫・廣瀬眞洋 二人展』(毎日アート出版)を出版されております。



◆ 齋藤 吉勝さんプロフィール

1964 年 宮城県生まれ

1987 年 立正大学文学部国文学科卒業

卒業後、仙台の業界新聞記者、宮城県公立中学校国語科教諭を経験。

現在は、詩・エッセイ・小説等を執筆中。

◆ 内容紹介

「躁うつ病」の < オレ > が、寝むれぬ夜に「生」について「死」について様々な思考を独白体 (モノローグ) で表現する。

——小説とエッセイと評論の間を縦横無尽 (じゅうおうむじん) にかけてめぐる、《著者渾身 (こんしん) の新たな驚愕 (きょうがく) のメッセージ》。



◆ 田中 章夫さんプロフィール

昭和 20 年 出生

昭和 41 年 故 清水喜美師のもとに皮革染色をはじめ

昭和 43 年 立正大学経済学部を卒業

昭和 46 年 メキシコ ベラクルス大学留学

昭和 47 年 ハラパ市にて個展

(ベラクルス州政府主催 日本大使館後援)

平成 3 年 Leather Art [Miku] 創設

平成 6 年 東京大丸にて個展開催

平成 7 年 京都大丸逸品会・東京大丸外商特選会にて個展開催

平成 8 年 京都大丸にて個展開催 (以後 10 回開催)
渋谷東急東横店にて個展開催

平成 10 年 秋田県角館に「角館の革館」を開館

平成 12 年 仙台三越にて個展開催

日本橋丸善本店にて個展開催

日本橋三越本店にて個展開催

平成 13 年 大阪三越「春の逸品展」

平成 15 年 名古屋三越栄店にて個展開催

平成 16 年 仙台丸善アエル店にて個展開催

千葉三越にて個展開催

平成 22 年 栗原画廊にて個展開催

(同 23・24 年も開催)

平成 25 年 パリ・エスパスジャポンにて個展開催

平成 26 年 泉崎マンスフィールド記念館 10 周年にて招待展

平成 27 年 八戸さくら野にて個展開催

(11 月 10 日~11 月 16 日)

平成 28 年 栗原画廊にて個展開催

(6 月 4 日~6 月 9 日)

仙台丸善アエル店にて個展開催

(6 月 29 日~7 月 5 日)

INFORMATION

2016年度校友会費B (卒業生・現元教職員等会費)のご案内

昨年度は校友会費B(3,000円)に約2,393件・7,147,000円のご協力を賜りました。皆様のご協力に深く御礼申し上げます。

ご協力頂きました会費は校友会奨学金、入学記念品、卒業記念品、課外活動助成金等の在校生支援事業および卒業生交流会費用や会報等発送に関する校友会運営費に充当させていただきます。

まだお振込がお済みでない会員の方は、専用振込用紙にてゆうちょ銀行よりお振込くださいますようお願い申し上げます。

記入の際、下記青枠内において、本紙への氏名掲載を「許可する」。もしくは、「許可しない」のご希望をお伺いしております。どちらか片方に○をお付けの上、お申込みくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。



卒業記念品



入学記念品

02 東京	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担	振替払込請求書兼受領証
00100001	417250	金額 3000	00100001
立正大学校友会		料金	00100001
校友会費B		備考	417250
会員番号: 学籍番号または研究科名: 卒業年度(修了年度):		立正大学校友会	金額 3000
氏名		料金	日 指 印
【必ずどちらかに○をお付けください】 会費通知の納入者一覧へ氏名の掲載を 許可します ○ 許可しません		備考	

立正大学生涯メールのご案内

立正大学では、卒業生・修了生が、同窓生同士の交流はもちろんのこと、本学との交流や情報交換を図り、無償、永年利用のメールサービスをおこなっております。詳細につきましては校友会ホームページをご参照下さい。

校友会会員情報について

ご登録を頂いております、お名前・ご住所・電話番号・勤務先等にご変更および訂正がございましたら、下記までご連絡下さい。

変更届の内容

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先または職業
- ◆校友会会員番号 (校友会報・学園新聞宛名ラベルの番号)

お問い合わせ・お届け先

立正大学学長室校友課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
☎ 03 (3493) 6673 FAX: 03 (3493) 9068
Email : alu@ris.ac.jp

専用紙は立正大学校友会ホームページ
(<http://alumni.rissho.jp/>) からダウンロードできます。

お知らせください

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の活動に関する情報がございましたら上記お問い合わせまでご連絡ください。

教職員訃報

【平成28年6月1日～平成28年8月31日】

元理事長 田賀 龍彦氏 (平成28年6月5日逝去)

元大学事務局長 廣中 良彦氏 (平成28年7月30日逝去)

謹んで哀悼の意を表します

【お詫びと訂正】

前号内で誤表記がありました。正しくは下記の通りです。

前号 14 頁 平成 28 年度立正大学橋会事業計画書
保護者支援 保護者懇談会 14 会場
新潟会場 9 月 24 日 (土) 職員 5 名 田中橋会副会長 追加

前号 16 頁 (正) 帝釈天坂本尊 (誤) 帝釈天坂本尊
(正) 帝釈天題経寺大黒天神像修復
(誤) 帝釈天題経大黒天神像修復

訂正して、お詫び申し上げます。



発行者 立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
発行人 齊藤 昇
編集 立正大学学長室校友課
電話 03-3493-6673
URL <http://alumni.rissho.jp/>